

## 第3回土浦市上大津地区小学校適正配置検討委員会議事録

1. 日 時 平成30年7月31日（火）  
午後1時30分から午後3時30分まで
2. 場 所 新治学園義務教育学校 新治ホール
3. 出席委員  
委員 樋口 直宏                      委員 吉田 浩正  
委員 大塚 忠司                      委員 池田 知史  
委員 池田 陽久                      委員 小野 英明  
委員 尾崎 真里子                    委員 吉原 憲夫  
委員 濱田 栄一                      委員 平田 豊  
委員 花沢 浩                        委員 武田 勇  
委員 田口 長八郎                    委員 久保田 正美
4. 委員以外の出席者  
服部教育部長                      菊地参事  
鶴田指導課長                      平井教育総務課長  
元川学務課長                      学務課職員2名
5. 報 告  
(1) 第2回検討委員会の議事内容について  
(2) 保護者及び地域住民説明会の実施結果について
6. 議 事  
・上大津地区小学校の適正配置について  
(1) 平成30年度スケジュール（案）について  
(2) 上大津地区小学校適正配置の方策別課題等について  
(3) 暫定的な上大津西小学校の問題解消のための方策別課題等について  
(4) 上大津地区小学校適正配置の方向性について

以下、協議内容。

- 報告 (1) 第2回検討委員会の議事内容について  
(2) 保護者及び地域住民説明会の実施結果について

— 事務局より説明 —

- (委員長) ・それではただ今の報告内容について、何かございますでしょうか。
- (委員1) ・6年生までで12学級とするには、300人以上必要だと思いますが、現在菅谷小学校と上大津西小学校を合わせても200人程度のため、暫定的にでも上大津西小学校と菅谷小学校を統合させるというのは無理があると思います。  
・それよりも市にこの上大津地区全体の統廃合を早く進めていただいた方がいいと思います。  
・常磐線があるため、児童の登下校時などの安全性を考えると、神立小学校を除いた3校（上大津西小学校、上大津東小学校、菅谷小学校）を統廃合していくのがいいと思います。  
・上大津地区の小学校はいずれも耐震補強が済んでいるため、新しい学校を建てるよりも、既存校舎を上手く利用した方がいいと思います。  
・例えば1～3年生を上大津西小学校、上大津東小学校、菅谷小学校のうちのどこかへ、4～6年生を残った2つの施設のうちのどちらかへ行かせてはどうかと考えています。  
・義務教育学校と記載がありましたが、それがどういうものか知らない人も結構いると思います。また、名称として義務教育学校にこだわる必要はないと思います。  
・スクールバスは必要だと思います。
- (委員長) ・適正配置についてのご意見については、後ほどの議事のところで事務局からの説明を確認しながら、他の委員さんからもご意見等を伺いたいと思います。
- (事務局) ・義務教育学校を簡単にいいますと、中学校区の小学校、中学校を一つの施設で整備する、この新治学園のような形が一番分かりやすいかと思います。今ご意見いただいたような、例えば常磐線の横断は危険ということで神立小学校を別にして、残り3校で義務教育学校を作るとするのは、神立小学校が入っていないので義務教育学校とは言えません。

- (委員1) ・義務教育学校というのは中学校も絡むのですよね。
- (委員長) ・神立地区に義務教育学校を作るというのは、神立小学校に7～9年生の中学校部、神立中学校のようなものをつくり、神立小学校と一緒にして一つの学校にするということになります。
- (委員1) ・校長先生が1人で小学校の1番のトップは副校長になるとか、そういうのがありますよね。
- (委員長) ・そうですね。他にいかがでしょうか。
- (・意見なし)
- (委員長) ・先ほどのご意見については、後ほどの議事のところで扱います。そこで他の委員の方からもご意見を伺えればと思います。

議事 上大津地区小学校の適正配置について

(1) 平成30年度スケジュール(案)について

— 事務局より説明 —

- (委員長) ~ スケジュールの内容について再確認 ~
- ・ご質問、ご意見等がございますでしょうか。
- (・意見なし)
- (委員長) ・それでは先に進めたいと思います。

議事 上大津地区小学校の適正配置について

- (2) 上大津地区小学校適正配置の方策別課題等について
- (3) 暫定的な上大津西小学校の問題解消のための方策別課題等について
- (4) 上大津地区小学校適正配置の方向性について

— 事務局より説明 —

(委員長) ~ 資料P15 (通学区域の見直し) の内容を再確認 ~

- ・それでは、まず、通学区域の見直しについて、ご意見等はいかがでしょうか。

(・意見なし)

(委員長) ・有効性については、あまり高い数値が出てこないということですので、まず、1歩先に仮に進めるということで、通学区域の見直しは考えずにこの先議論を進めるということによるのでしょうか。

(・異議なし)

(委員長) ・ありがとうございます。

~ 資料P15からP17 (統合、新設等) の内容を再確認 ~

- ・方策1：通学区域の見直しは外すということ、新設の校舎を建てるのか、あるいは土地も含めて建てるのか、それともそれをしないのかという議論、それから実際の学校の組み合わせについてどうかということについて改めてご意見、ご質問等はいかがでしょうか。

(委員2) ・今年度もそうでしたが、来年度も入学予定者全員が上大津西小学校に入学しない可能性があります。  
・今年度はたまたま複式学級がありませんでしたが、来年度以降はまた複式学級となります。複式学級というのは私個人としては異常という印象を受けます。  
・適正規模の人数とかあるかもしれませんが、保護者としてはできるだけめめないような合併、早期の合併を望んでいるた

め、上大津西小学校と菅谷小学校の合併をまず暫定的に行ってほしいと思います。

- 上大津地区全体としては、神立小学校を除く3校（上大津西小学校、上大津東小学校、菅谷小学校）が統合し、新しく学校を作ることが理想なのかもしれませんが、新設校が出来るまで何年かかるか分かりません。
- 全ての方の意見を聞いたわけではありませんが、地域の方も仕方がないと考えていると聞いています。

(委員長) • 参考資料によると、来年度上大津西小学校は複式学級となる可能性があると思いますが、その辺りはいかがでしょうか。

(委員3) • 来年度は間違いなく複式学級になります。

(委員長) • 来年度の上大津西小学校の複式学級への対応はもう間に合わないかもしれませんが、ただ、対応策の実施時期が延びれば延びるほど同じことが続いてしまい、そして平成33年度からはさらに1学級減って4学級になってしまうといった問題が出てきます。

• 最終的な段階の前に、当面どうするかということで、とりあえず上大津西小学校と菅谷小学校という組み合わせが一番やりやすいといったご意見が上大津西小学校の方から出ましたが、菅谷小学校の方の受け止め方としてはいかがでしょうか。

(委員4) • 菅谷小学校としては別に問題ありません。

• 菅谷小学校は適正規模を満たしていませんが、ある程度の児童数はいるため、子供達の様子を見ててもそんなに統合の必要性は感じてはいません。

(委員長) • 上大津西小学校の方が動くことにより肩身の狭い思いをすることがないような受け入れ方をしたいということ、市でも考えているかと思えます。

• 方策2のアとイとウが上大津西小学校と菅谷小学校が一緒になる組み合わせですが、この時に上大津東小学校や神立小学校を含めて3校一緒にするのか、それとも2校だけにとどめておくのか、また、それを2段階にするのか、どうするかといった問題があります。

• 神立小学校は前回も出ていたように常磐線で分かれていると

いった地形の問題があり、また、規模としてもこの中では大きな学校だということで、とりあえず神立小学校は神立小学校だけでよいのではないかということが出ていましたが、その辺り神立小学区の方はいかがでしょうか。

(委員 5) ・常磐線を越えて低学年の子供とかを通学させる場合の安全確保の面、また、通勤の車で交通量が多いことなどから、神立小学校は神立小学校だけで進めていきたいと思います。PTAの方からもそのように聞いています。

(委員長) ・その他いかがでしょうか。

(委員 6) ・今の菅谷小学校の学区も昔神立小学校の学区でしたが、常磐線があるということで学区を分けた経緯がありますので、またそれを戻すというのはおかしいと思います。  
・神立小学校は別の方がいいと思います。

(委員長) ・それでは同じことを上大津東小学校について、いかがでしょうか。

(委員 7) ・説明会でも皆言っているように、神立小学校を除く3校で統合がいいと思います。その先、小学校をどうするかは思案中です。  
・上大津西小学校については、菅谷小学校にもっていくのがいいと思います。

(委員長) ・上大津東小学校も含めた3校で新設校なり、五中地区に建てるなり、また、可能性としては上大津東小学校の方でという考えもありうるということでよろしいでしょうか。

(委員 7) ・そういう考えでおります。

(委員長) ・その他いかがでしょうか。

(委員 8) ・上大津東小学校は本当にパンパンな状況で、校庭も本当に狭い感じがします。また、教室数も足りず、来年度は多目的室の改修も必要となる見込みです。特別支援の子もだんだん増えてくる可能性も考えると、今の校舎では耐えきれない状況です。

- (委員長)
- ・上大津東小学校の敷地を広くするというのもあるのですが、上大津東小学校は建て増しも条件としてはよくなく、少なくとも現有地に建て増しをしていくと、今度はグラウンドが狭くなっていくという問題が出てきます。お金も無尽蔵ではなく、また現実には上大津東小学校の北側の畑地のようなところを買えるのかという、そんな問題もあろうかと思えます。
  - ・その他いかがでしょうか。
- (委員 9)
- ・おおつ野の人口が今月 1 日に 2 5 0 0 人を超えました。
  - ・上大津東小学校は満杯なので、おおつ野 5, 6 丁目を上大津東小学校、おおつ野 7, 8 丁目を上大津西小学校とするのがいいのではないかと私は思います。
- (委員長)
- ・上大津西小学校は少なくて困っており、上大津東小学校は多くて困っているという問題を一緒に解決するために全部一緒にしようという、2つの問題を1つにする解決策のような考えにもなっています。
  - ・上大津東小学校は上大津東小学校で切り離して、もっといい案があれば、それはそれで上大津西小学校と菅谷小学校だけという問題はなくはないんですが、上大津西小学校と菅谷小学校だけでは、適正規模が満たせないというもう1つの問題も出てきますので、その辺りはちょっとバランスを考えなければいけないということがあろうかと思えます。
  - ・その他いかがでしょうか。
- (委員 1)
- ・今の案は上大津東小学校と上大津西小学校の問題を同時に解決できるとは思いますが、丁目で分けるより、学年で分けた方が適正だと思います。
  - ・上大津西小学校の対応をいたずらに早くやるよりも、資料 P 1 4 のスケジュールの事務手続きをもっと同時並行で急いでやり、上大津地区全体を平成 3 2 年度あたりからできるような方向性でやった方がいいのかなと私は思います。
  - ・上大津西小学校と菅谷小学校の統合を、例えば来年度からやるとすると、その次の年度にまた違うやり方で適正配置を実施するといったことになってしまう可能性もあるかと思えます。

(委員長) ・この4校の方向性、あるいは五中を含めた5校の方向性をどうするかということについては、次回ある程度決着をつければいいということですので、まず上大津西小学校と菅谷小学校を一緒にするという事、それから神立小学校を切り離すということ、そして上大津東小学校もそこにくっつける、ここでいうと、資料P15のイか、P17のイ’、イ’’,イ’’’のようなそういう方向性でもう少し事務局とも検討させていただくということで、まず、2番目の問題(上大津地区全体の方向性)については、とりあえずそういった議論で、今のところ収めていきたいと思えます。

～ 資料P20(上大津西小学校の暫定案)の内容を再確認 ～

・先ほどのご意向ですと、とにかく早くしたいということ、それから上大津西小学校と菅谷小学校というまとめ方が、当面は問題ないのではないかと、ただ、それを最終的なゴールにするわけではないということ。そこで統合先をどちらにするかということ、菅谷小学校の方がいいとなりますでしょうか。上大津西小学校の方から菅谷小学校へバスは出るようになると思いますけど、上大津西小学校としてはいかがでしょうか。

(委員2) ・上大津西小学校の保護者としては、バスがしっかりしてくれば問題はありません。

(委員長) ・何か他にこの資料についてご意見等はございますでしょうか。

(委員1) ・国の通達で、適正規模について無理はしないでくださいといったものがありますので、最終的にぎりぎりの線であれば、こだわらない方がいいと思えます。

(委員長) ・そうですね。何が何でもということではありませんが、適正規模と複式学級では全然問題が違います。  
・小学校で1学年2学級を満たすというのが適正規模のハードルですので、それはどちらかということと行政、あるいはもっと大きな単位でお金の使い方、人的配置のこと、学校運営のことを考えたときに適正ということですので、そこが大義ではありませんけども、大命題ではないということになるかと思

います。

- それでは資料P 2 1, 2 2, 今の議論を含めて改めて方向性について確認してまいりたいと思います。①②③については、今申したことの更なるまとめということになりますので、現時点での教育委員会としての考え方ということで、これについてご議論いただきたいと思います。

～ 資料P 2 2 (適正配置の方向性) の内容の確認 ～

- 先ほどのご意見では、①も含めて適正配置のやり方によってはもっと早くなるということもありうるかもしれませんが、また③の案2のように、今年度中の統合もできなくはないということになります。ただ、学校をどうするかという問題もありまして、廃校のような手続きをとるとなると、藤沢小学校では廃校準備委員会だけでも1年半みっちりかけているわけですから、もしそれをやるとなると、今のようなことはもう進んでないといけないということになります。
- また、学校の廃校手続きも、暫定的にとということが理屈上可能なかどうか、その辺りによってこの何年度末というのは、平成31年度でもぎりぎりかなという感じが直感的にはしているところです。
- その辺りも含めてご意見や修正案等はございますでしょうか。

(委員9)

- 上大津東小学校の児童の数は、おおつ野が3分の2以上を占めています。おおつ野の自治会は、今年の12月には1000世帯になるため、法人化も含めて分割を考えています。
- おおつ野5, 6丁目とおおつ野7, 8丁目は児童の数はあまり変わらないため、おおつ野7, 8丁目を上大津西小学校へということをして、役員班長会でも諮って見たところ、いいのではないかといった意見も多く見受けられました。

(委員長)

- 今のご意見について、菅谷小学校は一緒ではないとなると、資料P 1 5の1番上の1(1)のパターンになるのかと思います。
- 資料P 1 5の1(1)例1について、事務局より、いい点、悪い点をご説明いただけますでしょうか。

- (事務局)
- ・(1)の例1については、上大津東小学校の一部を上大津西小学校にするといったシミュレーションではありますが、まず、適正規模の面で、両校とも基準を満たすことが難しく、また、児童をそのまま移動させればよいということではなく、上大津西小学校の方の校舎の改修の費用もかかってくるということで、その予算化という面でも早急に対応というのがなかなか難しい部分もありますので、低めの点数となっております。
- (委員長)
- ・おおつ野7, 8丁目の子供達が動いたとしても、複式学級は解消にはなるのですが、もうひとつの壁である適正規模という点では解決に至らないようです。そこにとどめる話であれば、上大津西小学校の施設改修などをしていけばいいということになりますが、その辺りをどう考えるか。
  - ・上大津西小学校では、上大津東小学校の子が上大津西小学校に来るといった話は出てきているのでしょうか。
- (委員2)
- ・私は上大津東小学校の方から、沖宿町、田村町といった昔からある町の人達が上大津西小学校へといった話は聞いたことがあります。
  - ・おおつ野を何丁目とかで区切って、住民の方がすぐに納得してくれるのかということがあるかと思います。納得してただけなのであればまた違う話になりますが、これでまた時間が過ぎてしまいます。
- (委員長)
- ・上大津西小学校としては待っている方が嫌だということですね。
- (委員2)
- ・上大津西小学校だけを考えると、一番お金がかからなくてスムーズに行くのは何となく菅谷小学校という考えでいます。
- (委員1)
- ・一番嫌なのは、どうなるかわからないということなのではないかと思います。
  - ・ただいたずらに先へ先へではなく、早く方向性を決めることが一番だと思います。
- (委員長)
- ・とりあえず上大津西小学校をどうしたいかということを優先にすると、例えば上大津西小学校を菅谷小学校へもって行って、そして最終的な案でおおつ野の一部を切って上大津西小

学校を戻すようなことが、もっといい案だということであれば、それもできなくはありませんが、上大津西小学校を一度廃校にしてしまうとそれが逆にできなくなるということも起こりうります。また子供をあまりにも短い間に行ったり来たりさせるといことは現実的ではありません。

- ただ、何らかの形で上大津西小学校の子供達が複式学級にならないような手を先に打っておいて、その先をどうするかということを引き続きこの会で決めるということをご理解いただければと思います。上大津西小学校の子が宙ぶらりんになり、3年も4年も経って4学級くらいしかなくなるというのは、上大津西小学校にとって一番望ましくないパターンということになります。
- この資料P22の最終提言と中間提言、この考え方をもとに、次回その中間提言の案、それから最終提言の方向性について引き続き議論していくというようにしたいと思います。
- 他何かございますでしょうか。

(委員6)

- 結局最後はお金の問題になってくると思いますので、各学校の1年間のランニングコスト、いつなくしたらそれが浮くのかというのも、情報としてはほしいです。

(委員1)

- 予算は補正を組んでもらうとか、いくらでもやりようがあると思います。ただそれよりも、できるだけ早く道標みたいなものができたら一番いいのかなと思います。
- 施設を残して利用した方がいいと発言しましたが、完全にそうした方がいいということではなく、五中については、隣の山のようなところを上手く使えばいいと思います。小学校の方は、今ある施設を上手く利用して、町内で区切るのではなく、学年で区切るような方向性で行けば、色々な反論はかなり少なくなると思います。

(委員長)

- 学年で区切った場合でも、何校残すかという問題も出てくるかと思いますが、またその辺りも議論してまいりたいと思います。他いかがでしょうか。
- 本日はここまでということで、次回第4回の検討委員会では、本日も議論いただいた上大津西小学校の早期対応案についての中間提言について原案を出したいと思います。それと同時に、上大津地区全体の適正配置についても引き続き議論いただきたいと思います。

・それでは事務局より何かありますか。

(事務局)

・次回第4回目の会議につきましては、10月頃の開催を予定しております。詳細についてはまた改めてご案内させていただきます。

(委員長)

・それでは以上を持ちまして第3回上大津地区小学校適正配置検討委員会を閉会いたします。  
・長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございました。